

[dō:k]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東丸之内21-4 オーデンビル

3F/Siege : Oden Building 21-4

Higashi Marunouchi Tsu JAPON

№ 30 特別号 octobre 1994 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

ようこそ! 《ルウ・クラボ・ドウ・セミセンス》
BIENVENUE "Lous Crabots de Semisens" groupe folklorique landais



このほどフランスはバスク地方の「木の脚」おどりの一行が祭り博に参加するため来日します。竹馬（木の脚）に乗った男性と民族衣装をつけた女性が踊りまくるといふ、いままで日本には伝わってきていないもので、若い未成年の諸君が多いこととてきつと熱演が繰り広げられることと思ひます。

人間だれしも空高く舞い上がりたい、という欲望を持っているもので、それ故に竹馬なり木の脚なりで背を高くする遊びは世界中で見られます。それが祭りにまで高まるというのも自然の方向で、事実南米や中国などでも見られますが、その形態は土地によってまるで違ひます。このたびの公演がどのようなものか興味津々といったところではす。

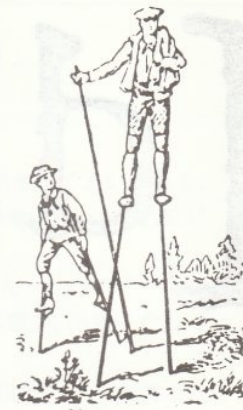
すでに7月の総会で皆様のご了解を得ました通り、当三重日仏協会がいささかのご協力をすることになっておりますが、若い舞踊団の成功に向けて会員の皆様の一層のご協力をお願いします。

三重日仏協会会長

武村素男

ランド地方の竹馬乗り ECHASSIERS LANDAIS

フランス西南部、大西洋沿岸のランド地方は、かつては湿地帯が広がっていたため、その羊飼いたちは高い木の棒を足に着け、サギなどの水鳥 (échasse) のような姿で羊を見張り、羊毛を紡いでいたそうです。羊の毛皮のジャケットを着、高い足をはいて踊るこの地方の民族舞踊はこうした往時の風習を伝えるものです。このほど三重日仏協会が招いた〈ルウ・クラボ・ドゥ・セミセンス〉のメンバーは、木の足をはく少年たち、かわいい民族衣装の少女たちと伴奏の音楽家たちで構成され、その踊りにはさまざまなレパートリーがあるそうです。同グループの根拠地はランド県サンヴァンサン・ドゥ・ティロスの町ですが、近年は毎年のようにスウェーデン、スペイン、トルコなど国外を訪問し妙技を披露しています。



Echasses.

「プチ・ラルース」辞書より
PETIT LAROUSSE

《ルウ・クラボ・ドゥ・セミセンス》のメンバー (敬称略)

踊り手 (男) danseurs

ニコラ・デュロン
ダヴィド・ラセル
ヴァンサン・フュレ
ローランス・ラガン
ステファヌ・シャンパーニュ
ヴァンサン・ロベス
ジル・メゾナーヴ
ジョン・クロード・クリスタオ
ニコラ・マルキ
ミシェル・スアルズ

14歳
14歳
15歳
15歳
17歳
19歳
19歳
21歳
22歳
22歳

踊り手 (女) danseuses

カロリーヌ・ドゥモレイ
アナイ・カドヴィル
マリナ・カゾー
ポーリーヌ・ラコルヌ
オーレリー・ランベイク
ラクティシア・ダゴス
ヴィルジニー・サンジェルマン
イザベル・ネーグル
サンドリーヌ・リュカス
サンドリーヌ・デュロン

10歳
11歳
12歳
12歳
13歳
16歳
16歳
17歳
18歳
19歳

音楽家 musiciens

マリレーヌ・シャンパーニュ 19歳
エマニュエル・ベレイラ 27歳
シモン・ゴンカルヴ 27歳

付き添い surveillants

クロード・スアルズ 56歳
フランソワーズ・デュロン 42歳

(片仮名表記が不正確な場合もありますのでご了承ください)

通訳 interprète

山口千佳 (ASIA)

三重日仏協会からは常時 喜田絃美 (きだひろみ) と菅谷光美 (すがのやてるみ) が随行し、そのほか事務局メンバーが補佐します。



いつも身近に

(JOSF)
1332kHz

東海ラジオ


ワインショップ

ウチヤマ

津市柳山津興 3316 ☎ 0592 - 26 - 3312

〈ルウ・クラブ〉の日本滞在スケジュール

10/22 (土)	20:00 関西国際空港着		大阪泊
10/23 (日)	大阪 — 京都	金閣寺など京都市内見学	京都泊
10/24 (月)	京都 — 奈良	東大寺など見学	
	奈良 — 鈴鹿	本田技研工場見学	鈴鹿泊
10/25 (火)	鈴鹿市・明峯堂で書道研修		
	鈴鹿 — 桑名		
	ドミニク・ドゥーセの店・桑名店一周年記念祭に参加		
	桑名 — 伊勢		伊勢泊
	(伊勢市、伊勢青年国際文化センターなどのお世話でホームステイ)		
10/26 (水)	『まつり博』会場で2回公演		
	内宮など伊勢市内見学		伊勢泊
10/27 (木)	『まつり博』会場で2回公演		
	伊勢志摩スカイライン 歓迎パーティー (観光文化会館)		伊勢泊
10/28 (金)	『まつり博』会場で1回公演		
	伊勢 — 阿児	阿児町歓迎パーティー	阿児泊
			(ホームステイ)
10/29 (土)	阿児 — 鳥羽	ミキモト真珠島など見学	鳥羽 — 津
	三重日仏協会主催 歓迎レセプション (プラザ洞津)		津泊
	(ホームステイ・イン津と本会会員宅にホームステイ)		
10/30 (日)	午後 三重産業振興センター国民文化祭『全国職人づくし』で1回公演		
		津 — 大阪	大阪泊
10/31 (月)	10:00 関西国際空港発	フランスへ	

 まつり博・三重'94 1994・7/22 ▶ 11/6

 国民文化祭・みえ94 平成6年
10月22日
-30日

琴・三味線 教室

勢ノ文会

津教室

年齢を問わず 楽しく ご指導いたします 指導 浜田文登勢 入江玉勢 奥村雪勢
津駅前エイトビル2F (問合わせ先) ☎ 0592-29-2122 ・ 05972-2-1276

1994年総会と「パリ祭」盛大に

ドゥマゾー教授 フランスの「食」を語る

三重日仏協会 1994年度総会は7月17日、津市のプラザ洞津で開催され、〈ルウ・クラボ・ドゥ・セミセンス〉歓迎の特別事業を含めて、今年度の活動計画などを決めました。続いてボルドー大学教授ジェラルド・ドゥマゾー氏の記念講演があり、参加者に大きな感銘を与えました。さらに今年はキャトルズ・ジュイエ（パリ祭）のパーティーもあわせて開催、フランス、ザイール、コート・ドヴィヴォアールなどの人たちも参加して国際色ゆたかな楽しいひとときを過ごしました。

ドゥマゾー教授は、これまでに多くの新物質の合成に成功した実績をもつ高圧合成工学の専門家ですが、広くフランスの文化に深い関心を抱いておられ、この日もフランスの食文化について、フォア・グラの作り方にいたるまで実践的な蘊蓄を披露されました。その一部をご紹介します。

〈フランスは大西洋、地中海などの海に面し、山地が少なく平地が広い。だから漁業、農業、牧畜が盛んとなり、魚介類、野菜、果物、穀物、食肉、乳製品が豊富である。さらに歴史的に南北二つの文化圏に分かれていたこともあって、フランスの食生活はきわめて多様性に富んでいるのである。〉

〈ワインもフランス料理に欠かせないもの。古代ローマ人が地中海沿岸にブドウの栽培とワイン製造の技術をもたらし、それが次第に北の方へ広がった。ブドウの木の質、土質、気候、醸造法、どれが欠けても良いワインはできない。〉



講演するドゥマゾー教授（通訳は武田さん）

KODERA

株式会社 **ジェムプラザ小寺**
津ステーションデパート チャム2F

富士電機グループ

鈴鹿ファーンエス株式会社

代表取締役 楯野正雄

鈴鹿市南玉垣町5908 ☎ (0593) 83-5207

〈良いフランス料理には、豊富な良い素材とともに、料理に使うチーズなど良質の乳製品やワインの役割が大きい。〉そうした例として教授は、ソースにボルドーの白ワインと生クリームを使った「ムール貝のシャラント風」と、赤ワインを使った「牛あばら肉のボルドー風」の料理法を説明された。

〈典型的な農業国フランスの農民は、かつて早朝から夜までよく働いた。このため夏などは朝6時の軽い食事（コーヒーとパン）から始まって、夜9時の夕食まで、一日5回も食事をとったものである。午後1時ごろからの昼食がいちばん重く（オールドウーヴル、肉か魚、サラダ、チーズ、デザート、コーヒー）、時間もたっぷりかけた。〉

〈農村と都市では食生活も異なる。都会では仕事の時間などの関係で、昼食よりも家族の集まる夕食に重きがおかれている。〉

〈おいしい料理は人間関係を親密にする。フランスでは議論や商談も食事中にする。とくに最後の部分‘entre la poire et le fromage’「果物とチーズの間」がもっともうちとけた時間となり、交渉成立のチャンスである。〉

〈フランス人は、料理がフランス文化と伝統の大切な一翼を担っていると考えている。おいしい料理を作るには十分な時間が必要である。しかし時間的制約が人間関係、そしてすべての伝統をも破壊しようとしていることが今最大の問題である。〉

このあと聴衆からの質問を受けたところ、ドゥマゾー教授がお得意というフォア・グラ（ガチョウなどの肝臓のパテ）の詳しい製造法について、フランスの食文化においてパンが占める重要な位置について、ムール貝の毒性について、等等熱心な質問が相次ぎ、教授は一つ一つ丁寧に答えておられました。

<p>株式会社 宮崎本店</p> <p>皆様に心から 愛される美酒造り。</p> <p>清酒</p> <p>宮の霊</p>	<p>夢とやすらぎの空間をお約束</p> <p> 四日市都ホテル</p> <p>近鉄四日市駅前・アムスクエア TEL (0593) 52-4131</p>
---	---

INFORMATIONS

この夏三重県で二つの日仏交流

阿児町と玉城町

いずれも ASIA (アルカシヨン湾国際文化協会) のお世話によるもので、志摩郡阿児町には7月末からアンデルノス市のペリュサ市長をはじめ少年少女ら19名が来訪、また度会郡玉城町には8月初旬ルテッシュ市のトゥルベ助役ら18人が来訪、それぞれ約二週間滞在してホームステイなどで市民レベルの交流を深めました。さらに今後の友好発展が期待されます。

『宮の雪』パリで金賞

三重郡桶町の宮崎本店(宮崎由至社長・本会理事)製造の清酒『宮の雪』が今年も世界酒類コンクール(Monde Sélection)で入賞しました。しかも純米酒、本醸造(「極上」)、大吟醸の三部門で金賞を獲得、9月末パリで授賞式がおこなわれました。

10/8(土) 長寿フェスでペタンクに参加しよう

恒例の『はつらつ長寿フェスティバル』、今年は松阪市の中部台公園で開催。ねんりんぴっく全国大会派遣のペタンク三重県代表チームと対戦する三重日仏協会の選手を募集中。ダメモさん親子も出場します。当日、9時半までに会場(中部中学グラウンド)に集合してください。

10/17(月) ドミニクさん『まつり博』でパン焼きの実演

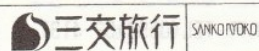
『まつり博』でフランス週間が始まるこの日、鈴鹿市の〈ドミニク・ドゥーセの店〉のパン職人さんたちが、「祭りのゾーン」でフランスパンを焼き、無料で見学者に配布します。日仏協会会員の応援(ボランティアとして参加)を求めます。

11/12(土) フランソワーズ・モレシャン文化講演会

新築オープンする三重県総合文化センターのレセプションルームで、13:30より。三重県教育委員会等主催による

旅先は地球。

- ▶三交パレック
- ▶海外旅行
- ▶スカイパレック
- ▶ほのほのつみたて
- ▶ウインカー
- ▶JR・近鉄乗車券



津営業所(津市体育館隣)
(0592) 24-5151

フランス語・英語・絵画教室

みえエデュケーション・
ネットワーク

代表 ジャン=フランソワ・ダメモ
松阪市立野町 ☎0598-26-7138

第5回文化セミナー。世界、フランス、日本の文化、とくに地方の文化の大切さなどについて話されます。入場無料。来聴を歓迎しています。

12/8 (木) 伊藤隆之ピアノ・リサイタル (本会後援事業)

6:45開演 四日市市文化会館第2ホール 3,000円

ドビュッシー/映像第2集 ラヴェル/夜のガスパール など

伊藤さんは三重県出身、パリで活躍中のピアニスト。

'95 1/24 (火) 菅原美枝子さんがピアノ協奏曲に出演

ナゴヤシティ管弦楽団 フランス音楽の夕べ 指揮・小松一彦

6:45開演 愛知県芸術劇場コンサートホール

菅原さん (本会会員) がサンサーンスのピアノ協奏曲第2番を演奏されます。

「フランス語強要法」
骨抜きに

あたりかまわず英語を使ったら罰金というトゥボン文化相提案の「フランス語強要法」案について、7月末フランス憲法評議会は人権宣言という「表現の自由」に反ずるとして、広告や国際会議など公共のものに限るべしとの制限をつけた。世界に注目された同法は骨抜きとなり、罰則は「勧告」に置き換えられた。

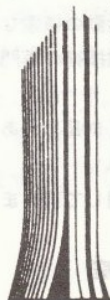
今回の交流事業に伴う財政活動として、初めて本紙に協賛広告の掲載をお願いしたところ、多方面からご協力をいただきました。またその外にも寄付等の形で下記の方々からご支援をいただきました。あわせて厚くお礼申し上げます。(事務局)

太田歯科 倉田耳鼻咽喉科 とよだ耳鼻咽喉科 ドミニク・ドゥーセの店
津シネマ・フレンズ その他 匿名希望の方々

今年度会費の納入 まだの方はお早目に

年会費は 3,000円 です。右記の口座へお振り込み下さい。百五銀行本店 普通153969三重

安田火災海上保険(株)
四日市支社



東海管理センター 伊東 彰
TEL0593 - 53 - 6536

まごころでサービス

安田火災

上島小児科

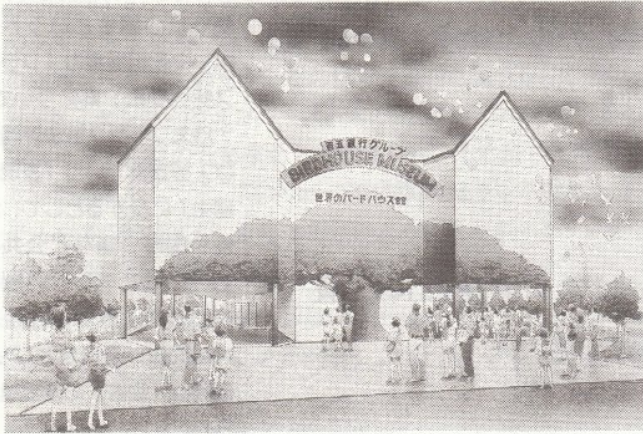
津市新町2丁目7-28 (津高校東)

☎ 26 - 8282

百五銀行グループ

まつり博・三重'94

世界のバードハウス館



発見がある。驚きがある。であいがある。
本年夏 緑濃い伊勢の地に新たな“であい”
を求めて。

百五銀行グループは人と自然のゾーンに
「世界のバードハウス館」を出展いたして
おります。

バードハウス(巣箱)は鳥たちと人間との
“共生”のシンボル。

人と自然との新しい“であい”の空間を創
りだします。

皆様のご来場を心よりお待ち申し上げて
おります。

●期間/7月22日(金)～11月6日(日) ●会場/三重県伊勢市朝熊山麓



HYAKUGO
BANK

百五銀行

ふじた耳鼻咽喉科

津市中央6-14

☎ 28-3546

川井病院

津市本町26-11

(岩田町バス停徒歩1分)

☎ 0592-25-4114 (代)

より快適な環境を求めて

MEC

MIE PREFECTURE
ENVIRONMENTAL CONSERVATION
AGENCY

新社屋竣工!!

(財) 三重県環境保全事業団 (MEC) は、環境問

題に取り組む唯一の公益法人です。

この度河芸町に新しい社屋を建設いたしました。これを機会に、更に一層の
努力を重ね環境にやさしい生活文化の創造、環境へ配慮した企業活動の模索な
ど来世紀へ向けて地域社会の環境問題解決のために取り組み、環境技術の専門
家集団、総合コンサルティング機関として成長してまいります。

環境調査・測定、化学分析、廃棄物問題など専門チームがすばやく対応し、あ
なたの悩みにおこたえます。どんなささいなことでもご相談下さい。

どうかみなさまのご支援を賜りますと共に当事業団を充分ご活用して頂きま
すよう、よろしくお願いいたします。

理事長 伊庭 洗

〒510-03 安芸郡河芸町大字上野3258番地 TEL0592-45-7505 FAX0592-45-7515